

# 文化と情報の ソフト・パワーと未来

ことば・かたち・おと・ひとの文化情報学

本講演では、ギリシャ・ローマ考古・美術史学、文化資源学の第一人者である元文化庁長官・青柳正規先生（東京大学名誉教授）をお招きし、「ことば」「かたち」「おと」、それらを生み出す「ひと」を科学する文化情報学、その力を身にまとった“文化立国”を担う若者、そして日本と世界の未来への貢献についてお話いただきます。

地域と世界の未来を映し出すために、現在というフィルタを介して

過去を学ぶ姿勢をもった人材が育まれなくてはならない。

文化資源の情報化、それを主眼にした学領域は、

今こそ、私たちの社会にとって重要なソフト・パワーである。

**講師** 青柳 正規氏（東京大学名誉教授・元文化庁長官）

平成29年11月4日（土）14時30分～15時30分（開場：14時00分）

〔会場〕同志社大学 京田辺キャンパス 恵道館201教室

**入場無料**  
（事前申し込み不要）

## Profile

青柳正規 あおやぎまさのり

1944年大連生まれ。古代ギリシャ・ローマ美術史研究の第一人者として、40年以上にわたり、地中海遺跡の発掘調査を続けている。1967年東京大学文学部美術史学科卒業後、1969～1972年ローマ大学に留学、古代ローマ美術史・考古学を学ぶ。文学博士。東京大学副学長、国立西洋美術館長、独立行政法人国立美術館理事長、文化庁長官を経て、現在に至る。東京大学名誉教授。日本学士院会員。2006年紫綬褒章。2011年日本放送協会放送文化賞受賞。著書に、「トリマルキオの饗宴―逸楽と飽食のローマ文化」（中公新書）、「ローマ帝国」（岩波ジュニア新書）、「知識ゼロからの美術館入門」（幻冬舎）、「人類文明の黎明と暮れ方（興亡の世界史00）」（講談社）、「文化立国論 日本のソフトパワーの底力」（ちくま新書）など多数。

